

保護者 様

倉敷市立天城小学校
校長 角南 綾

地震発生時の対応について(お知らせとお願い)

向暑の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、地震発生時に本校では次のように児童の安全を確保しますので、ご協力をよろしくお願いします。

記

1 児童が学校にいて地震が発生した場合

「震度5弱以上のとき」

保護者が引き取りに来るまで、避難場所（学校）で待機させます。たとえ、時間がかかっても保護者が迎えに来るまでは、学校で保護します。

※津波の到達が予想される場合は、迎えよりもまず、自分の身の安全を最優先してください。

※津波の状況によっては、天城高校グラウンドに避難します。引き渡し場所も天城高校グラウンドになる場合があります。

「震度4以下のとき」

校内及び通学路の安全を確認したのち、原則として通常通り授業を行い下校させます。状況に応じて、引き渡しをしたり、いつもより早めに教職員付き添いで下校したりする場合があります。保護者連絡帳を確認してください。

2 児童が在宅中に地震が発生した場合

「震度5弱以上のとき」

原則として自宅待機とします。（学校からの安否確認があります）余震や災害情報に注意し、家族の安全確保を最優先してください。その後の対応については、学校からの連絡（保護者連絡帳）をお待ちください。

「震度4以下のとき」

自宅周辺及び通学路の安全を確認したのち、原則として登校します。

3 児童が登下校中に地震が発生した場合

「震度5弱以上のとき」

- (1) 安全を確保する行動をとり、揺れが収まったら周囲の安全を確認させます。
- (2) 自宅、学校の近い方へ避難させます。（自宅に人がいない場合は、近隣で大人がいるところへ（学校を含む）
- (3) 自宅に戻った児童は、自宅待機とします。（学校からの安否確認があります）
- (4) 登校した児童、学校に戻った児童は、保護者が引き取りに来るまで、学校で待機させます。たとえ時間がかかっても保護者が迎えに来るまでは、学校で保護します。

「震度4以下のとき」

安全を確保する行動をとり、揺れが収まったら周囲の安全を確保し、登校・下校をします。校内及び地域・通学路の安全を確認したのち、原則として通常通り授業を行い下校させます。状況に応じて、いつもより早めに教職員付き添いで下校したりする場合があります。

◎揺れを感じたら、ブロック塀や高い建物、川岸からすぐ離れる。ランドセルや手提げ袋等で頭部を守る。

建物の中にいる場合は、部屋の中央で身をかがめ、机等の下に避難する。

※自宅周辺が危険な状況にある場合は、上記の限りではありません。保護者の方は、安全確保を最優先し、適宜、安全第一に避難する、登校を遅らせる等の判断をしてください。

※災害発生時には、緊急連絡用回線の確保が必要なため、電話でのお問い合わせはお控えください。

いろいろな場面で大きな地震が起きたときに、
どのように行動したらよいでしょうか？

学校にいるとき

- ➡ 震度5弱以上の場合は、避難・引き渡し
- ➡ 震度4以下の場合は、原則、通常通り

学校・児童

- ①揺れが収まるまで、その場で安全確保
- ②放送や先生の指示で運動場に避難
※津波警報発令時、天城高校へ避難もありうる
- ③先生は通学路の安全確認
- ④保護者への引き渡し開始（震度5弱以上）
- ⑤保護者が来るまで学校で待機
- ⑥学校再開の連絡があるまで臨時休業

家に一人にいるとき

- ➡ 震度5弱は、棚の食器や本が落ちる。固定していない家具が倒れることがある。
- ➡ 震度4は、電灯などのつりさげ物が大きくゆれる。棚の食器が音を立てる。

学校※震度5弱以上の場合

- ①保護者連絡帳で安否確認メールを発信
- ②学校再開に向けて関係諸機関との調整
※震度4以下の場合は、原則、対応はなし
翌日から通常通り登校

児童

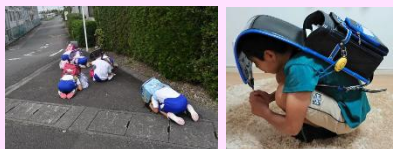
- ①揺れが収まるまで安全を確保
- ②保護者からの連絡を待つ
※どこに避難するのか決めておくとい
- ③TV、ラジオ等で情報収集
- ④学校再開の連絡を待つ

大地震発生！
(震度5弱以上)

登下校中のとき

児童

- ①揺れが収まるまで、その場で安全確保
・落下物から頭を守る
しゃがむ、ランドセルかぶせなど



- ・倒壊物から離れる
電柱、ブロック塀、看板、用水路など

- ②揺れが収まったら、登校班で学校か家の近い方へ移動 または近くの安全な場所へ避難
- ③家に帰っても家族がいない場合は、大人がいる場所に避難。行き先の書き置きをする。

学校

- ①揺れが収まるまで、その場で安全確保
- ②在校している児童を運動場に避難させ、校内の残留児童の確認
- ③通学路の安全確認、残留児童の搜索
- ④在校していない児童の安否確認
- ⑤保護者への引き渡し開始（震度5弱以上）
- ⑥保護者が来るまで学校で待機

お出かけ先に家族といるとき

自動車に乗車中

- ①ゆっくりスピードを落とし、道路左側に停車
- ②災害の情報を収集、自宅までの経路確認
- ③その場に車を置いて避難する場合は、キーをつけたまま、ロックをしないで避難

ショッピングセンターなどの建物内

- ①揺れが収まるまで、落下物・倒壊物に注意して、その場で安全確保
- ②非常口の確認、店員の誘導などにより、倒壊や火災に備えて落ち着いて建物から出る

観光地などの屋外

- ①揺れが収まるまで、落下物・倒壊物に注意して、その場で安全確保
- ②災害の情報を収集、広域避難場所の検索
- ③海岸や川岸にいる場合は、急いで高台へ避難

学校

- ①保護者連絡帳で安否確認メールを発信
- ②災害用伝言ダイヤルの利用

